

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公開番号】特開2005-213261(P2005-213261A)

【公開日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2005-031

【出願番号】特願2005-37992(P2005-37992)

【国際特許分類】

A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 6 1 K	31/192	(2006.01)
A 6 1 K	31/196	(2006.01)
A 6 1 K	31/405	(2006.01)
A 6 1 K	31/5415	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/16	(2006.01)
A 6 1 K	47/24	(2006.01)
A 6 1 K	47/26	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	47/44	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	9/107
A 6 1 K	31/192
A 6 1 K	31/196
A 6 1 K	31/405
A 6 1 K	31/5415
A 6 1 K	47/10
A 6 1 K	47/16
A 6 1 K	47/24
A 6 1 K	47/26
A 6 1 K	47/34
A 6 1 K	47/44
A 6 1 P	29/00

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月20日(2007.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液体媒体中に懸濁した二層膜小胞を含む薬剤調製物であつて、前記小胞は、二層形成脂質、両親媒性の鎮痛薬剤、及び前記懸濁媒体中に自己凝集可能な界面活性剤を含み、前記両親媒性物質すべての総乾燥質量が0.01重量%～50重量%であり、前記鎮痛薬剤の含有率が前記総乾燥質量に基づいて0.1%～60%である、薬剤調製物。

【請求項2】

前記二層形成脂質がリン脂質である、請求項1に記載の薬剤調製物。

**【請求項 3】**

前記二層形成脂質がホスファチジルコリンである、請求項1に記載の薬剤調製物。

**【請求項 4】**

前記鎮痛薬剤が、ケトプロフェン、イブプロフェン、ジクロフェナク、インドメタシン、ナプロキセン、及びピロキシカムからなる群より選択されるN S A I Dである、請求項1から3のいずれかに記載の薬剤調製物。

**【請求項 5】**

前記界面活性剤がノニオン界面活性剤から選択される、請求項1から4のいずれかに記載の薬剤調製物。

**【請求項 6】**

前記界面活性剤が、ポリエチレングリコール-ソルビタン長脂肪鎖エステル、ポリエチレングリコール-長脂肪鎖エステルまたは-エーテル、ポリヒドロキシエチレン-長脂肪鎖エステルまたは-エーテル、あるいは表面活性剤状非イオン性リン脂質である、請求項5に記載の薬剤調製物。

**【請求項 7】**

前記総乾燥質量が0.1重量%～40重量%である、請求項1から6のいずれかに記載の薬剤調製物。

**【請求項 8】**

前記総乾燥質量が0.5重量%～30重量%である、請求項7に記載の薬剤調製物。

**【請求項 9】**

前記総乾燥質量が1重量%～15重量%である、請求項7に記載の薬剤調製物。

**【請求項 10】**

前記鎮痛薬剤の含有率が前記総乾燥質量に基づいて0.5%～50%である、請求項1から9のいずれかに記載の薬剤調製物。

**【請求項 11】**

前記鎮痛薬剤の含有率が前記総乾燥質量に基づいて1%～40%である、請求項10に記載の薬剤調製物。